

あたらしくはいった本（永源寺・湖東・愛東図書館に入った主なものを紹介します）

くらし・健康

乙女の琵琶湖・滋賀雑貨屋&カフェさんぽ

韓国ほろ酔い横丁こだわりグルメ旅

会社員自転車で南極点に行く

ねじれとゆがみ

乳がんと生きる

手づくり発酵食

さよさんの「時短家事」スタイル

あるものを生かきける毎日を楽しむ捨てない暮らし

回転ずしは「食費」ではなく、「娯楽費」である！

お嬢様のためのドレスBOOK

手ほどき七緒—大久保信子さんの「着つけ」入門

しずく堂の手編みこもの

小関鈴子のモードなキルト

アリカ／著

鄭 銀淑／著

別所 愉庵／著

毎日新聞生活報道部／著

村上 祥子／著

小西 紗代／著

松場 登美／著

山田 真哉／著

しずく堂／著

小関 鈴子／著

メイツ出版

双葉社

小学館クリエイティブ

晶文社

毎日新聞出版

日本文芸社

三笠書房

家の光協会

白泉社

日本ヴォーグ社

プレジデント社

文化出版局

日本ヴォーグ社

『作家のお菓子』 コロナ・ブックス編集部/編 平凡社

書齋でとる抹茶とカステラの朝食で1日を始めた野上彌生子。それは、執筆にとりかかるための出陣の儀式でもありました。外側は西洋のパン、中身は日本の小豆餡からなる「あんパン」を「和魂洋才」とリスペクトしていた『あんぱんまん』の作者、やなせたかし。26人の作家が愛したお菓子の数々……美しい写真と身近な人の追想で綴られるエピソードは、甘い記憶とともに、私たちが創作の舞台へと誘ってくれます。



世界のおばあちゃん料理

醤油・味噌・酢はすごい

「めんどくさい」がなくなる台所

砂糖が決め手！コウケンテツのまたつくりたくなる定番レシピ

白崎茶会のあたらしいおやつ

料理好きのうつわと片づけ

ガブリエーレ・ガリンベルティ／著

小泉 武夫／著

足立 洋子／著

コウ ケンテツ

白崎 裕子／著

人とうつわ編集部／著

河出書房新社

中央公論新社

SBクリエイティブ

NHK出版

マガジンハウス

河出書房新社

社会・教育・福祉

限りなく完璧に近い人々

女性政治家のリアル

紛争・対立・暴力

図解いちばんやさしく丁寧に書いた不動産の本

採るべき人採ってはいけない人

介護ヘルパーにたのめること、たのめないこと。2訂版

マイケル・ブース／著

塩村 あやか／著

西崎 文子／編著

大澤 茂雄／著

奥山 典昭／著

KADOKAWA

イースト・プレス

岩波書店

成美堂出版

秀和システム

ユーキャン介護ヘルパーサービス研究会／編 ユーキャン学び出版

『ここまで変わった日本史教科書』 高橋秀樹（他）/著 吉川弘文館

「¹いい国¹作ろう鎌倉幕府」昔はこの語呂合わせで覚えたものですが、現在の子どもたちの常識は「¹いい国¹つくろう源頼朝」。かつては「1192年 鎌倉幕府が開かれる」と年表に書かれていましたが、いまは「源頼朝が征夷大將軍になる」となっています。歴史研究が進んだ結果、人物や事件、時代のイメージが見直され、教科書の内容は大きく変わってきています。ここ数十年の日本史教科書の変化とその根拠となる研究の進展を、教科書の専門家が詳しく解説しています。



空き家の手帖	六原まちづくり委員会／著	学芸出版社
誰も教えてくれなかった！「確定拠出年金」	横山 光昭／著	宝島社
子どもとスマホ	石川 結貴／著	花伝社
サラリーマンのための退活読本		日経BP社
こころが軽くなる認知症ケアのストレス対処法	松本 一生／著	中央法規出版
ルポ難民追跡	坂口 裕彦／著	岩波書店
子どもも大人も元気になる保育	萩原 光／著	ひとなる書房
こどものみかた春夏秋冬	柴田 愛子／著	福音館書店
発達気になる子の学校・家庭で楽しくできる感覚統合あそび		ナツメ社
反抗期乗り切りマニュアル	諸富 祥彦／著	主婦の友社

自然・ビジネス・産業

星くずたちの記憶	橋 省吾／著	岩波書店
雪と氷の図鑑	武田 康男／著	草思社
楽しい動物化石	土屋 健／著	河出書房新社
軽トラックスピリッツ vol. 1		交通タイムス社
知られざる潜水艦の秘密	柿谷 哲也／著	SBクリエイティブ



『世界一の金属の町 燕三条の刃物と金物』 中川政七商店/編 平凡社

新潟県の燕三条は日本有数の金属加工製品の産地です。ここで産み出される製品の中から、奈良を拠点に工芸品や生活雑貨を販売している中川政七商店が、暮らしの道具135点を選びすぐって紹介します。製品が生まれる工房や職人の熟練の技にも密着取材。確かな技術があつてこそその美しいデザイン、使いやすさを追求した製品はどれも手に取ってみたいものばかり。燕三条の職人技をとくごとくご覧ください。

実践！Instagramビジュアルマーケティング	田中 千晶／著	KADOKAWA
アマゾンと物流大戦争	角井 亮一／著	NHK出版
青函連絡船の人びと	本橋 成一／写真	津軽書房

芸術・趣味

4つの役割が決め手！宿根草でつくる自分好みの庭	NHK出版／編	NHK出版
美しい柄ネコ図鑑	小林 希／著	エクスナレッジ

『中世の古文書入門』 小島道裕/著 河出書房新社

古文書というと、「くずし字」でよく分からないことが書いてあるものと思いませんか？でも、読めなくても大丈夫。本書では、鎌倉時代から戦国時代にかけての古文書を、「見た目」に注目して楽しむ方法を紹介しているのです。「見た目」で古文書を読むことによって、頼朝から信長・秀吉・家康まで、歴史上の人物の心の内が見えてきます。



ニセモノ図鑑	西谷 大／編著	河出書房新社
繪本歌を訪ねて	安野 光雅／著	講談社
12カ月を彩る絵てがみ入門	吉川 みか／著	日本文芸社
日本の木と伝統木工芸	メヒティル・メルツ／著	海青社
つくって楽しむわら工芸	瀧本 広子／編	農山漁村文化協会
役者人生、泣き笑い	西田 敏行／著	河出書房新社
いっしょにあそぼ草あそび花あそび 秋冬編	佐藤 邦昭／著	京都：かもがわ出版

ことば・文学・小説

誰からも好かれるNHKの話し方

サイのものがたり

簡単なのにぐいぐい話せる裏ワザ英会話

大人に贈る子どもの文学

狂うひと

詩、ってなに？

NHK放送研修センター日本語センター／著 KADOKAWA

白川 静／著

平凡社

ステイーブ・ソレイシィ／著

NHK出版

猪熊 葉子／著

岩波書店

梯 久美子／著

新潮社

平田 俊子／編

小学館

『夜行』 森見登美彦／著 小学館

10年前、京都「鞍馬の火祭」の夜。一人の女性が失踪した。その思い出を抱えて長い時を過ごした5人の男女が再び集う。貴船の宿でそれぞれの10年を語らううち、彼らの印象的な思い出には、ある画家の不思議な連作「夜行」がかかっていることに気づく——

寒くなってゆく夜をさらにひやりとさせるような、でもその裏にはあたたかな灯りがともっているような。静かで幽玄な物語をお楽しみください。



- | | | |
|--|---------------------|----------|
| 『栗色のスカーフ 杉原爽香〈43歳の秋〉』 都市開発企業が抱える事情に爽香は巻き込まれ—— | 赤川 次郎／著 | 光文社 |
| 『天子蒙塵』第1巻 「蒼穹の昴」シリーズ新章開始！ ラストエンペラー・溥儀は王朝再興を夢見るが | 浅田 次郎／著 | 講談社 |
| 『朝が来るまでそばにいる』 感情の隙をついて忍び寄る、自分自身の心の影。再生と希望の連作 | 彩瀬 まる／著 | 新潮社 |
| 『大義賊 もんなか紋三捕物帳』 江戸城堀端の死体は、人気戯作者。十手持ちの紋三が謎に挑む | 井川 香四郎／著 | 双葉社 |
| 『江戸を造った男』 材木商河村屋七兵衛、のちの瑞賢。巨万の富を得た彼は土木事業に邁進するが | 伊東 潤／著 | 朝日新聞出版 |
| 『崩落 禁裏付雅帳3』 朝廷の弱みを握るべく、京へ赴任した東城鷹矢。そこへやってきた美女は間諜か | 上田 秀人／著 | 徳間書店 |
| 『怪人二十面相 私立探偵明智小五郎』 少年探偵の活躍とあざやかな怪盗、そして名探偵を改めて | 江戸川 乱歩／著 | 新潮社 |
| 『あずかりやさん 桐島くんの青春』 一日 100 円、なんでもあずかります。奇妙な店を開いたわけは？ | 大山 淳子／著 | ポプラ社 |
| 『豆大福と珈琲』 スタイリッシュな世界観、小説のたぐらみと歓びに満ちた「珈琲」をめぐる5つの物語。 | 片岡 義男／著 | 朝日新聞出版 |
| 『我ら荒野の七重奏』『七人の敵がいる』続編。子どもの部活なのに、頑張るのは親ってどういうこと？ | 加納 朋子／著 | 集英社 |
| 『怪盗探偵山猫 月下の三猿』 シリーズ第5弾。山猫を訪ねた少女がさらわれた。謎を解く鍵は「猿」 | 神永 学／著 | KADOKAWA |
| 『光炎の人』上・下 明治。貧しい少年は電気と出会い、皆の生活向上のため技術開発者となるが—— | 木内 昇／著 | KADOKAWA |
| 『うたかたの恋 御用船捕物帖2』 廻り同心と幼馴染の船頭が、市井の暮らしを守るため悪事を暴く | 小杉 健治／著 | 朝日新聞出版 |
| 『継続捜査ゼミ』 未解決事件に挑むのは、大学教授と女子大生。史上最高に美しい捜査チーム誕生 | 今野 敏／著 | 講談社 |
| 『17歳のうた』 京都、青森、福岡、和歌山、山形。地方都市で生きる女子と80年代洋楽が響き合う | 坂井 希久子／著 | 文藝春秋 |
| 『侍の本分』 家康に対してすら己の意思を曲げなかった男、大久保彦左衛門。武士の矜持がここにある | 佐藤 雅美／著 | KADOKAWA |
| 『オライオン飛行』 日本人看護婦とフランス人飛行士の、戦前の短く激しい恋。そこに宿る謎と真実 | 高樹 のぶ子／著 | 講談社 |
| 『恋糸ほぐし 花簪職人四季覚』 寺で暮らす心優しい職人が、恋の悩みも心の傷も受け止め癒していく | 田牧 大和／著 | 実業之日本社 |
| 『黒涙』 公安の対中国防諜作戦へ参加することとなった警部補。しかし彼は、黒社会とつながっていた | 月村 了衛／著 | 朝日新聞出版 |
| 『叛骨 陸奥宗光の生涯』上・下 盟友を失い、不遇の青年時代を乗り越え、日本の近代外交の礎を築く | 津本 陽／著 | 潮出版社 |
| 『メビウス1974』 1974年10月14日。長嶋の引退試合、三井物産爆破事件の日に引き裂かれた人々 | 堂場 瞬一／著 | 河出書房新社 |
| 『かがやき荘アラサー探偵局』 西荻窪のシェアハウス、お気楽アラサー女子三人組がなぜか探偵に | 東川 篤哉／著 | 新潮社 |
| 『恋のゴンドラ』 東野圭吾、初の恋愛小説！ 真冬に集う男女8人の運命と怒涛のどんでん返しに注目 | 東野 圭吾／著 | 実業之日本社 |
| 『冬の螢 日溜り勘兵衛極意帖』 シリーズ第9弾。旗本の周辺を嗅ぎまわる浪人・兵四郎の目的とは | 藤井 邦夫／著 | 双葉社 |
| 『陰陽師 玉兎ノ巻』 シリーズ第15弾。月食の夜、二本足で立ち、人の言葉を話す兎は何を探す？ | 夢枕 獏／著 | 文藝春秋 |
| 『いい人ランキング』 「いい人」と呼ばれるのは「いいこと」？ 不器用な中学生を描くビターな青春小説 | 吉野 万理子／著 | あすなる書房 |
| 『なんでわざわざ中年体育』 運動なんて大嫌い！ な作家が果敢に挑んだスポーツ、その数23！ | 角田 光代／著 | 文藝春秋 |
| 『アメリカーナ』 ナイジェリアからアメリカへの留学を希望する恋人たちに、現実の壁が | チママンダ・ソグズィ・アディーチェ／著 | 河出書房新社 |
| 『水のしらべ琵琶湖のうた』 朝日新聞滋賀版連載の画文を一冊に。近江の暮らしに水がとけこむ | 福山 聖子／著 | ナカニシヤ出版 |

ほかの図書館で所蔵している本や貸出中の本には、予約ができます。くわしくはもよりの図書館へおたずねください。